

年4回（4月、7月、10月、1月の各10日）発行

# ひゅーまん ねつとわーく

# 地域生活

2020年 1月 発行 / 第80号

社会福祉法人 北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



左上：安部美和さん

右上：古門久直さん

下：左から近藤義彦さん、徳永優利さん、出口和正さん

## 対人援助の仕事は素晴らしい!



社会福祉法人北摂杉の子会

理事長 松 上 利 男

### 1. はじめに

皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えになられたことと存じます。今年も引き続き、私ども法人・事業所の運営につきまして、ご理解とご支援を賜りますように衷心よりお願い申し上げます。

さて、皆様もご存じのように介護・保育・障害等の社会福祉領域での人材不足が大きな社会問題になっています。人材の確保ができないことで、事業の縮小や新規事業の開設ができないという状況が見受けられています。

私ども法人でも昨年4月に開設した「レジデンスなさはらもとまち」(1棟7名×2棟)では、開設に必要なパート職員の確保ができず、1棟は開設できましたが、あと1棟が開設できていません。

正職員の採用につきましては、大学新卒者17名とキャリア(既卒者)採用が5名確保できたことで、来年度に必要な正職員確保の目途が立ち、ほっとしているところです。

しかし、今後ますます少子高齢化が急速に進む中で、社会福祉事業を支える人材不足は全ての国民、私たちの課題であるといえます。

今月の機関誌にご寄稿頂きました野澤さんは、東京大学を中心に重い身体障がいのある人や福祉領域の支援現場で先駆的な働きをされている人をゲストスピーカーに招かれ、学生が福祉について学ぶ場「リアルに迫るゼミ」を主宰されています。そして、ゼミ卒業生が障害者福祉領域での働きを選択されました。

現在、この素晴らしい取り組みを関西にも広げる計画を進められているとお聞きました。是非野澤

さんの計画に私ども法人も参画させていただきたいと願っている所です。

### 2. 対人援助は、「自身を成長させてくれる」素晴らしい仕事である

私は、知的障がい、自閉症・発達障がいのある人たちなどを支援する障害福祉領域での仕事を始めて、今年3月末で47年になります。

私が働き始めた時代でも福祉領域で働く人材は極端に不足していました。給与・待遇面でも恵まれていませんでした。

私が京都市の学童保育指導員の試験を受けた時、面接官から、「この仕事では、食べていけませんけれども、それでもよろしいですか?」と尋ねられたことを覚えています。

その面接で「将来は、知的障がいのある子どもの施設で働きたいと思っています」と答えたことがきっかけになり、知的障害者通所授産施設(現在の就労継続支援B型事業)「京都市かしの木学園」での働きにつながるようになります。

学童保育指導員試験の翌日に、京都市障害福祉課課長さんから電話があり、黒塗りの公用車に乗せられて、逃げられないように私の両側から課長さんと参与さんに挟まれて、「京都市かしの木学園」まで連れていかれたことを鮮明に覚えています。

理事長・園長さんから、「そのうち慣れるから、ぼちぼちしよし」と励まされて、陶芸班の担当になりました。働き出してすぐに、同僚から陶芸職人になるには「土こね3年」という事実を教えられ、「大変なことになった!」と心の中で呟きました。それでも

日々の利用者さんとの関わりは新鮮で、心とむ毎日を送っていました。

巻頭で「対人援助の仕事は素晴らしい!」と掲げましたが、この仕事の魅力は、なんとといっても「新しい自分自身との遭遇とそれを通しての成長」です。このことが感じられないようになった時には、対人援助の仕事から去る時期だと思っています。

法人ホームページの「松上利男の一言」の中で、「対人援助の基本は、『自己理解と他者理解』である」ことを述べてきました。対人援助について、「松上利男の一言」から抜粋してお伝えしたいと思います。

「言うまでもなく、対人援助は、自分自身の身体を通して（使って）、他者を援助することですから、その援助過程の中で、自分自身の価値観や感情が直接他者に影響を与えることから、より良い援助関係を築くうえで、自己理解が重要になります。ですから、日々の利用者との対人援助場面の中で、『何故あの時、イライラしたのだろうか?』などの振り返り、例えば、自分自身の身体反応（息遣いや声のトーン、視線、身振りなど）や言動についての気づきを深めることが大切になります。同時に自分自身を知ることは、今まで知らなかった新しい自分自身を知ること、新しい自分自身との遭遇のチャンスでもあります。また、そのことを通して、対人援助専門職としての育ちとなります。」

自己理解は、「他者を通してしか理解ができません。そして、そのことは様々な他者との関係を通して自己理解が深まります。ですから、自分自身の理解と成長を進めるために、すべての他者は大切な存在です。」

このような人間理解を得ることのできる対人援助

の仕事は、人生にとって価値のある素晴らしい仕事だと思います。

### 3. 対人援助は、「創造的であり、社会を変革できる」素晴らしい仕事である

私自身もそうですが、私どもの法人北摂杉の子会は、法人開設以来知的障がい、自閉症・発達障がいなど、障がいのある人たちのニーズに向き合いながら必要とされる支援サービスを創造してきました。

そして、これからも地域に根差して、地域で様々な対人援助の活動をされている団体・グループ・個人の方々と連携して、すべての人が安心して暮らし、支え合い、それぞれの価値や考え方の違いを乗り越えて、互いに尊重し合える「共生社会の創造」の取り組みを地道に進めていきたいと思っています。

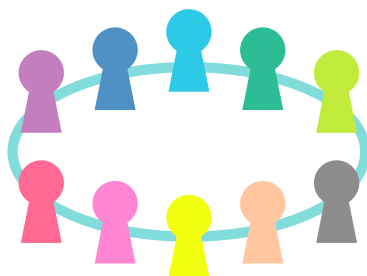
### 4. 対人援助の素晴らしさを伝えよう!

前述しましたように、野澤さんは「リアルに迫るゼミ」を通して、現役大学生に福祉の素晴らしさを伝え、それに共感した学生が対人援助の仕事に進まれています。

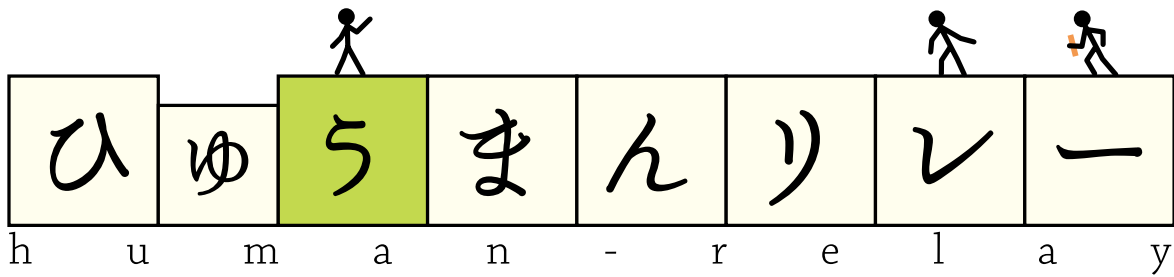
私ども法人もリクルーティング活動を進めています。その対象は社会福祉学・心理学・教育学・保育学を専攻している学生にとどまっています。

これからはそのような専攻の枠を超えて、様々な学びをされた学生、また民間企業でのキャリアのある人たちに対して、この対人援助職の素晴らしさを伝える努力をしなければならないと思っています。

直ちに法人を挙げて、皆様のお知恵もお借りして、取り組みをしたいと思っています。







## 福祉現場の人材不足をどうする

一般社団法人スローコミュニケーション代表／  
のざわ かずひろ  
毎日新聞客員編集委員長 野澤 和弘さんより

この国は現役世代の人口が急激に減っていきます。終戦直後には年間270万人近くの子どもが生まれていたのに、2019年は90万人を切る見込みです。そうした人口減少を背景に、福祉分野での人材不足は深刻化しています。

グループホームを建てたものの働く人が確保できない。ヘルパーがいなかったため重度障害者の支援ができないというような話をあちこちで耳にします。

介護専門学校の入学者に対する2016年度の定員割合は46%しかなく、福祉系大学では介護学科を閉鎖するところが出てきています。介護施設に対する調査では職員が「不足している」との回答が66%にも上っています。

その一方で、高齢化の進展によって現場で必要な職員数は増えています。この人材難は中長期的な課題です。

厚生労働省の試算によると、医療福祉分野で働く人は2018年に823万人だったのが、25年には930万人、40年には1070万人が必要となります。

こういう現状に対して厚労省は健康寿命を延

ばしたり、AI（人工知能）やロボットの導入、法人の合併などによる省力化を進めようとしています。

健康寿命が現在より3年以上延び、AIの導入が進めば、40年ごろの必要な医療福祉職は926万～963万人へと圧縮できるそうですが、それでもまだ100万～120万人が足りないというのです。

一方、製造業や金融業では中高年正社員のリストラが相次いで行われています。マスコミなどの構造不況の業種だけでなく、過去最高収益を上げている企業も人員削減に邁進しています。日本企業の正社員は生産性が低いというのが定説です。

だらだらと残業をする割に成果が上がらないというのです。AI導入などによる省力化を進めるために、社内で人件費が高く、技術革新についていけない中高年層がターゲットになっているわけです。

自尊心を傷つけられ、生きがいを失った中高年層はこのままでは「第二の氷河期世代」として社会問題になるのは避けられないでしょう。

障害者福祉を担っている社会福祉法人やNPOの中には企業からの転職組があちこちにおいて貴重な戦力になっています。資格は持っていても社会的スキルの未熟な新卒者よりも、企業でたたき上げてきた中高年退職組の方がはるかに戦力になっている例を私自身、何人も知っています。

企業でのキャリアのある中高年が顧客対応や社内での難しい人間関係に対処してきた経験を、福祉現場のガバナンスや利用者・家族の対応、行政や地域住民に対するコーディネートなどに生かしているのです。

福祉現場での仕事は新商品の開発と販路開

拓、企業や地域社会との連携、職場のガバナンスの向上や職員研修の充実など多岐にわたります。企業経験のあるベテランの活躍の場はたくさんあります。ICTやAIを導入して省略化を図るにしても、福祉職員の意識改革や知識・技術の習得を図ることが必要で、外部のコンサルに任せただけでは新技術の導入と定着はうまくいかないと思います。

企業の早期退職者の福祉での再雇用を積極的に考えるべきだと思います。それには受け入れ側の体制や意識改革も必要になってきます。新たな社会課題の解決について福祉が役割を果たすことが求められています。

## ■ 野澤 和弘さん プロフィール

毎日新聞客員編集委員。

一般社団法人スローコミュニケーション代表

1959年静岡県出身。早稲田大学法学部卒業。毎日新聞入社。津支局、中部報道部、東京社会部。葉書エイズ取材班、児童虐待取材班などを担当。科学環境部副部長、社会部副部長、夕刊編集部長、論説委員を歴任。

元千葉県障害者差別をなくす研究会座長、社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者制度改革推進会議差別禁止部会委員、厚労省今後の精神保健のあり方検討会委員。植草学園大学客員教授、東京大学非常勤講師、上智大学非常勤講師など。

主な著書に「あの夜、君が泣いたわけ」（中央法規）、「条例のある街～障害のある人もない人も暮らしやすい時代に～」 「なんとなくは、生きられない」 「障害者のリアル×東大生のリアル」（ぶどう社）



# 地域における包括的支援体制の構築をめざして

## ～地域連携を考えて～



NPO 法人 DDAC (発達障害をもつ大人の会)  
代表 <sup>ひろ</sup>の **野 ゆい** さんより

私が世話役代表として運営している「関西ほっとサロン」は2002年に大人のADHDのセルフヘルプグループ (SHG) として立ち上がり、現在も芦屋 (月1回) と茨木 (北摂ほっとサロン・隔月) で開催しています。SHGとは、共通の課題を抱える人が自主的に集まって主体的に運営する、自己回復 (エンパワメント) を目的としたボランティアグループです。グループは、同じ体験をした人でなければわからない心情や、医療機関や相談窓口などの情報、集まった当事者たちの体験的知識をもとにした生活スキルの「わかちあい」によって成り立っており、困難を抱える当事者が主体的に活動していることや、自己選択・自己決定、そして対等性が重要視されるということが特徴です。

その後、2005年に発達障害者支援法が施行されると大人の当事者や家族からの相談が急増し、2008年の4月に「発達障害をもつ大人の会 (DDAC)」を設立し、電話相談窓口を開設することにしました。もともとサロンの参加者は、家事や子育てに悩む女性が多かったのですが、同年9月に起こったリーマンショックによる世界大不況の影響で、20代～30代の仕事に悩む若者の相談が一気に増えました。コミュニケーションが独特である、仕事を覚えるのが遅い、ミスが多い、能力の差が大きい、こういう発達凸凹の人が、雇い止めやリストラにあい、多忙な職場でうつなどの不適應を起し、発達障害と診断されるようになったのです。この状

況に対応するため、2010年にNPO法人格を取得し、当事者活動のノウハウを生かしてピアリーダー養成研修や啓発冊子の作成を行いました。このころ法律の改正があり、発達障害で障害者手帳を取得して障害者枠で就労することができるようになりました。

それからまた10年が経とうとしています。企業の理解は少しずつ進みつつありますが、多様な発達障害の特性を理解してもらい、私たちらしくいきいきと働ける職場環境を創っていくことは簡単ではありません。今後、各地域で当事者グループと支援機関が連携し、それぞれのノウハウを社会に還元できるような仕組みを作りたい。そのために、アクトおおさかさんをはじめ、信頼できる支援機関とこれまで築いてきたつながりを大切に、今後も当事者の居場所づくりや、グループのリーダー育成にもより一層力を入れていきたいと考えています。そしてそれが、全ての人が自分らしく生きられる社会につながることを願っています。

●ガイドブック紹介●

『発達凸凹活用マニュアル1・2』  
ホームページ「びあさぽ De コンサル」からダウンロードできます。  
<http://consul.piasapo.com>

企業・一般向け

『大人の発達障害生活ガイドブック2012～2014』  
ホームページ「びあさぽ！ JAPAN」からダウンロードできます。  
<http://piasapo-japan.com>

当事者向け

## 地域の拠り所になるパン屋へ

ピンポンパン

店長 <sup>おし</sup>押 <sup>たに</sup>谷 <sup>しげ</sup>茂 <sup>き</sup>樹さんより

インタビュアー <sup>ひらの</sup>平野 <sup>たかひさ</sup>貴久  
(レジデンスなさはら 管理者)

### ●はじめに

今回は、高槻市内にあります「ピンポンパン」というパン屋さんをご紹介します。

このお店のパンを、北摂杉の子会のグループホーム「レジデンスなさはら」、「レジデンスなさはらもとまち」では、週3回、朝食に提供しています。

ももとは、スーパーで購入したパンを提供していたのですが、私たちが大切にしている「おいしい食事」と「地域とのつながり」を意識し、6年前ほどからパンを依頼しています。

### ●パン屋開業の歴史

パン屋さんを始められて来年で40周年を迎えられます。現在、3店舗目とのことでした。

1980年に、大蔵司でお店を開かれ、その後、塚原、そして現在の上土室の地に移転されています。地域のパン屋さんとして、住民の方をはじめ、高齢施設や保育園さんにもパンを提供されており、皆さんに親しまれているとのことでした。

### ●ピンポンパンさんの想い

(パン屋さんとして大切にしていること)

「長く愛されるパン屋になりたい!」そのため、飽きないパン作りを目指しているとのこと。

そして、味だけでなく、個人店ならではの触れ合いを通して、地域の拠り所となるように意識しておられます。そのため、控えめに…、出すぎないように…、ネットや電話帳にも載せていないとのことでした。

### ●地域の中のパン屋さんとして、意識されていること

地域の皆さんの「拠り所」となるパン屋へ

以前は、学校帰りに小学生や中学生がよく来てくれて、様々なエピソードがあったそうです。そんな小さなときに通ってくれた方々が、大人になって訪ねて来られることもあるそうで、本当に温かいパン屋さんです。

ある方が久しぶりに来てくれたので、「中学校の時によく来てくれたね。〇〇部やったね」と声を掛けると、「覚えてくれていたの?!」と驚いておられたとのこと。今は、立派に、長距離トラックの運転手になっておられたとのことでした。

### ●レジデンスなさはらと付き合いいただいている中で、意識されていること、想い。

ご利用者の好みもあるので、どのようなパンを提供しようかと、いつも工夫していただいています。これからも皆さんのお好きなパンを工夫していきたいので、ご意見等をいただけたらと思っていますとのことでした。

### ●今後、どんなふうになればこの地域は豊かになっていくでしょうか?

ストレスフリーな地域になればと願っている。

以前は、学校帰りのこともたちがパン屋に寄って、買ったり、食べたり、学校のことを話してくれていて、そこで何かしら思いが出せていたようにも思う。

今は、時代の流れで、どうしてもそのようなことが減ってきているように思う。



コンビニとかでもパンは買えるが、パンを買うだけであって、人との触れ合いは少ないと思う。触れ合いが少ないとストレスが溜まり、犯罪などにも影響してしまうようにも思っている。そういった意味で、拠り所となり、ストレスが少ない世の中になればと思っている。とのことでした。

ピンポンパンさんの店長さんの「地域で寄り添える、地域の拠り所となるパン屋さんを目指している」というお言葉と、店長さんのお人柄が、とても印象

的で、本当にいいパン屋さん巡りに巡り合えて良かった!と思いました。

「レジデンスなさはら」が目指している『地域での豊かな暮らし』は、ピンポンパンさんの店長さんをはじめ、多くの皆さんに支えられてのことだなあと、改めて感じました。

ピンポンパン店長の押谷さま、いつもありがとうございます。そしてこれからもよろしくお願いいたします。





## 日中活動が困難なご利用者の支援事例



ジョブサイトよど 支援員  
社会福祉士 桶谷 幸祐

### ■ 事業所について

ジョブサイトよどは平成18年4月に開設した生活介護の事業所で、令和元年11月現在38名の方が利用されています。主に発達障がいのある方を対象に、コロッケやつくねの製造、下請け作業や自立課題を行ったり、ドライブやレクリエーションなどの余暇を行っています。

### ■ 事例紹介

発達障がいのある方は、光や音など日常の様々な刺激に対して過敏さや鈍感さを持たれていることがあります。今回ご紹介するAさんも、日常の様々な物事から刺激を強く受けてしまい、日中活動が難しいご利用者のおひとりです。特別支援学校を卒業してから日中活動先が見つからず、1年間在宅で生活をされていましたが、平成29年度よりよどを利用されています。

Aさんは苦手なものを目にしたり耳にしたりすると不安になってしまわれます。苦手なものには女性や子ども、灯油販売車の放送、特定のCMなどがあり、それらの刺激をいつ受けてしまうか分からないので、ジョブサイトよどの他のご利用者と一緒のフロアでは活動が難しいのが現状です。そのため、現在Aさんは別室で職員がマンツーマンで対応することで、週に2回、2時間よどに通われています。少しの間ではありますが、家庭以外の場でご両親以外の人と過ごすことができるようになったことは、ご本人にとってもご家族にとっても大きな進展でした。

またAさんは他にも、変化が苦手であったり、失

敗への不安が強いという特性もあり、よどでの活動を充実させる中でも大きな課題があります。平成30年度はその特性に配慮しつつ、以下のような取り組みを行いました。

### ■ 取り組み

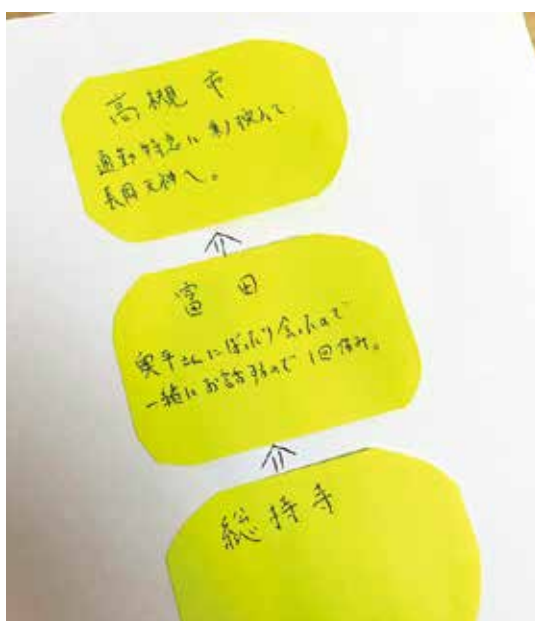
Aさんの長期的な目標は、ジョブサイトよどの中で楽しく過ごせることです。そのための取り組みとして ①新しい活動に挑戦する ②関われる職員を増やす の2つを実施しました。この取り組みを通じて、Aさんは事前のしっかりした予告支援を行うことで、新しい活動や変化にも対応できることが分かりました。

①について、これまではAさんが変化に対して苦手意識を持たれていたため、日中活動がどうしても毎回同じになってしまっていました。Aさんのジョブサイトよどでの活動は、自立課題（支援者の手伝いなく、1人で取り組み、達成感や成功体験を得るための教材）をひとつすること、昼食をとる、時刻表などを見る、職員と話をするの4つで、中でも特に職員との話が活動の大半を占めています。そのため、余暇の拡充を含めた新しい活動の導入を行いました。

まずはじめに、ジョブサイトよどで年2回実施している慰労会を活動にしました。この年の前期はアイスに好きなトッピングをして食べる企画でした。事前に配布した保護者様への案内を見てしまわれたこともあり、予告はできなかったのですが、ご自宅で練習することで活動のイメージをつかまれ、ジョブサイ

トよどでも職員と相談しながらトッピングをしていきました。

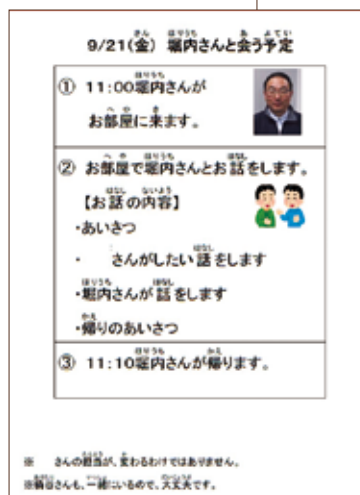
次に「阪急電車すごろく」を作成し、すごろくを活動に設定。これはAさんが幼少期に駅名を使ったすごろくを作って遊んでいたこともあり、ご自宅でお母様とAさんとで「阪急電車のすごろくをジョブサイトよどで作ろう」という話になったことから実施にいたりしました。事前に視覚的な予告をすることで、職員と一緒に思いおもいのすごろくを作ることができました。現在はそのすごろくで楽しく遊ぶ時間を設定しています。



スタッフと作成した阪急電車すごろく

②について、Aさんは前述の通り、変化への苦手さや女性への苦手さから、対応できる職員を増やすことが難しい状況でした。また担当職員と毎回1対1の関わりだけでは、Aさんの生活の幅が広がりません。そのためまずは第1歩として、担当職員以外の人と関わる機会を設定しました。

Aさん自身の強みや特性を理解する目的で、はじめは法人内の人材育成研修室の堀内スタッフに協力を依頼し、10分間お話をする時間を設定。こちらも①と同様に、予告と当日の手順を視覚的にお知らせしました。面会当日は少し緊張されている様子でしたが、楽しく会話することができました。



面会の予告とスケジュール

同じように視覚的な予告や当日の手順書を用意することで、他の男性職員からジョブサイトよどで作っているバレンタインコロケを受け取ることができたり、さらに年度末には女性職員からケーキを受け取ることもできました。女性が苦手と見ただけで怒られる等不安になられるAさんでしたが、事前の予告や女性職員の役割を明確にすることによって、落ち着いてケーキを受け取ることができたのだと思います。

## ■ 今後の展望

今回の取り組みで楽しめる活動や関わることでできる人が増えたことは、苦手なものが多く日中活動が難しいAさんにとって、大きな前進になったと思います。今後もご本人に寄り添いながら、少しずつ楽しい活動や色んな人との縁をつなげていけるよう、支援してまいります。

# みんなのリラックス方法を知り、 好不調の波をのりこなしましょう！

～当事者グループの取り組みから～



大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか 支援員  
臨床心理士・公認心理師 <sup>さか</sup>坂 <sup>もと</sup>本 <sup>さ</sup>沙 <sup>おり</sup>織  
社会福祉士・保育士 <sup>かり</sup>莉 <sup>や</sup>谷 <sup>さ</sup>沙 <sup>やか</sup>也香

## 1. 経過

発達障がいの特性として、自身の状態や状況について客観的に自分を評価することが難しい特性のある方や、感覚の過敏さだけでなく、感覚が鈍る鈍麻のある方も多くおられます。その特性ゆえに、不安、疲れ、体調不良など自身の不調に気づきにくく、心身の調子を崩してから初めて不調であったことに気づくという事例もあります。また、日々の電話相談や個別面談の中で、不調に気付いていても、どのように対処していいのか分からない、対処方法のバリエーションが少ない等の悩みを打ち明けられる方が多いという現状がありました。

## 2. 平成30年度の取り組み

そこで、平成30年度はストレスマネジメントに着目して、他者の意見も聞きながら自身の不調になりやすい状況や部分を確認し、意見交換や体験を通して、ストレスマネジメント方法の選択肢を広げることを目的としました。また、自身のストレスマネジメント方法を他者に伝えて共感を得たり、体験を通して自分に合ったストレスマネジメント方法を見つけることで、参加者のエンパワメント（自分自身に力をつけ、生活や環境をよりコントロールできるようにする）に繋げることを目指して実施しました。

	内容	参加人数
1回目	*1)POMS2 (短縮版) 記入 自己紹介・アイスブレイク (イラストゲーム) 今年度のプログラムの目的確認 ストレス、ストレスマネジメントとは? 不調になりやすい部分やその対処法についてのワーク	5人
2回目	アイスブレイク (ジェスチャーゲーム) 自分のストレスマネジメント方法やグッズの発表 *2)スヌーズリンググッズの作成、DVD観賞、バランスボール等を使った運動等	2人
3回目	アイスブレイク、POMS2 (短縮版) を体験の前後に実施 ストレスマネジメント方法やグッズ体験 (自分に合った音・映像探し、アロマスプレーやワックスパー作り、ストレッチ等の運動) 体験の感想の共有 次回の実施内容の検討	5人

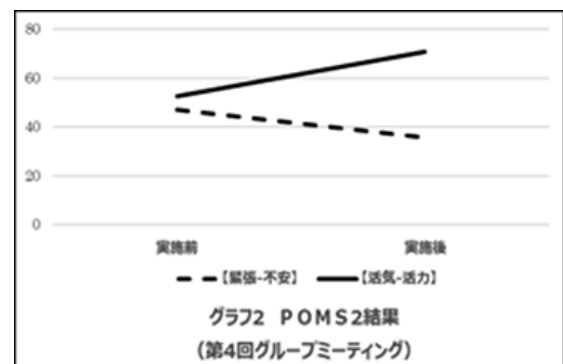
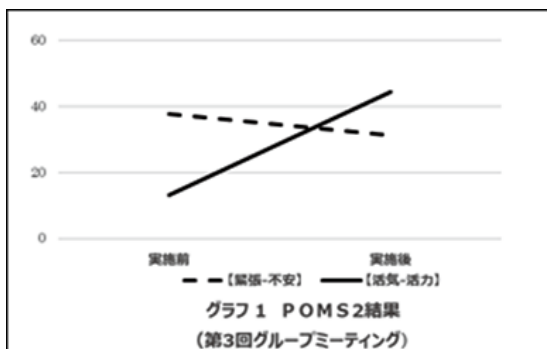


4回目	POMS2 (短縮版) を体験の前後に実施 バドミントン・卓球		3人
5回目	アイスブレイク POMS2 (短縮版) の結果のフィードバック 今年度の振り返り		3人

\*1) POMS2 (短縮版) : 気分プロフィール検査。

\*2) スヌーズレン : 視覚、聴覚、触覚等の感覚面への適度な刺激によって安らぎを感じる活動

ストレスマネジメント体験時は、参加者の心身の変化についてより詳細な振り返りとフィードバックが出来るように、POMS2 (短縮版) を用いました。第3・4回に行ったPOMS2の結果において、顕著な変化があった尺度 (【緊張-不安】と【活気-活力】) をグラフ1・2に表しました (【緊張-不安】とは身体の緊張や不安について、【活気-活力】は活力について測定できる気分の尺度)。グラフの見方は、【緊張-不安】は得点が高いほど緊張や不安が高く、【活気-活力】は得点が高いほど活力が高いということです。グラフ1・2共に、ストレスマネジメントの体験後には【緊張-不安】得点が減り、【活気-活力】得点が増えています。つまり、今回のストレスマネジメント体験が参加者の身体の緊張や気持ちの不安感をほぐし、活力ややる気が増す要因になったと考えられます。そのため、今回の体験内容は参加者にとって、一定ストレスマネジメント方法として機能する可能性が高いことがうかがえました。



### 3. おわりに

今回の取り組みを通して、他者に自分のことを伝えて共感してもらえた (=自分の意見が言えた、分かってもらえた) 成功体験が、参加者にとってエンパワメントの機会となりました。また、様々な体験を通して、自分に合った方法を発見した方もおられたことがその後の面談で分かりました。今回の取り組みで、参加者の自己理解も深まり、ストレスマネジメント方法の選択肢も広がる結果にも繋がったと言えます。体験したストレスマネジメント方法を汎化させ、ストレスマネジメントが必要な状況で、自分の環境に合わせて心身の状態をコントロールできることは、今後参加者の社会生活を支える上で重要な土台となると考えます。以上より、今回の取り組みが、想定していた目的通りに参加者のエンパワメントに繋がる活動や場となりました。

今後も当事者の方のニーズに応じたテーマを設定していきたいと考えています。



## ご本人の『意思』を大切に考え 『楽しみ』がもてる環境づくり

レジデンスなさはら 支援員 なか やま はる み 中山 春 美

### ■ はじめに ～簡単なプロフィール～

「レジデンスなさはら」は、平成24年4月に開設しましたグループホームです。開設目的は、重度の知的障害の方や、強度行動障害の方の暮らしの幅が広がることで『「らしく」いきるために』を基本的価値観とし、支援をさせていただいております。

現在は、当法人の生活介護に通所されているご利用者を中心に20名の皆さんが、3棟の建物【1番館（女性7名）、2番館（男性7名）、3番館（男性5名）】で生活をされています。

今回の事例は以下のような方です。

- 障害名：ダウン症 重度知的障害
- 障害支援区分：5
- 住まい：レジデンスなさはら(共同生活援助事業)
- 長所：楽しいことが待っているとすぐに行動に移せる  
気持ちの切り替えが早い  
身の回りのことは1人でできる  
粘り強く、時間がかかっても最後までやりきる
- 短所：知り合ったばかりの人と仲良くなるのに時間がかかる  
人が多いと自分から話しかけるのが苦手  
変化に弱く話を聞いてもらえないと余計に調子を崩す
- 好きなこと：ジャニーズ系のDVDを観て、一緒に歌いながら踊る。料理や工作

### ■ 従来の状態

- 朝起きづらいことが多かった  
22時頃リビングのソファで入眠。途中で目覚め朝5時頃に自室のベッドで入眠されるため起きづらそうでした。
- 朝食に間に合わないことがあった  
起床が遅くなり朝食も間に合わず、週1回しか食べないこともありました。
- 出勤バスに乗れないことが多かった  
起床が遅れ出勤バス（以下：マイクロバス）に間に合わず、週に1～2回は日中活動先に遅れて出勤していました。
- 結果として調子を崩されることにつながっていた  
ご本人もマイクロバスに乗れないことが悔しくて、毎朝、泣き、怒ることが続いていました。

### ■ 課題点

- 障害特性を意識した支援が組み立てられていなかった  
同じパターンで行動することで安心するため、出勤までに行う日課を職員が決めていたが、日課に時間の枠組み設定がなかったため、ご本人が時間を逆算して起床しなければいけません。ダウン症の方にとって、時間の逆算は障害特性上難しいため、特性に合わせた支援が不足していました。
- ご本人のエンパワメント（自身で生活や環境をよりコントロールする）を発揮できる環境で

はなかった

ご本人は、日課を理解されていたが、起床の動機になるものがなく、頑張って起きようと思える環境ではありませんでした。出勤方法や食事についても、ご本人の意思を確認できず、ご本人の一方的な関わりとなっていました。

- 成功体験を積めないため、失敗→自信喪失→失敗という悪循環の状況であった

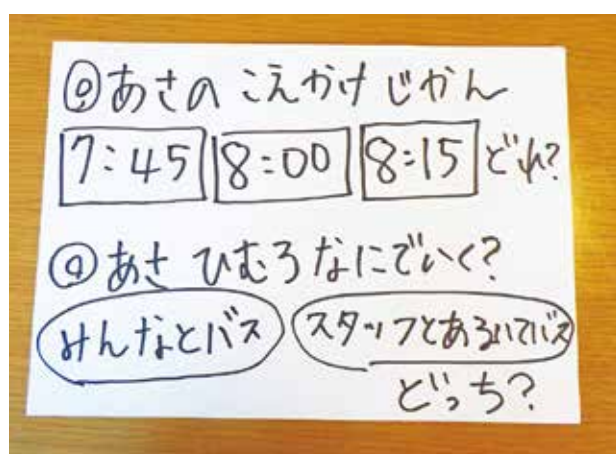
朝食を食べることができず、マイクロバスにも乗り遅れ、その日のモチベーションが下がる。「ご飯が食べられなかった、乗れなかった」というマイナスな経験が積み重なり、自信を喪失されていました。

- 対応が統一されていなかった

職員による起床の声かけの時間や方法が統一されておらず、ご本人も混乱。

- 職員との関係性の悪化につながってしまっていた

「眠たいのに起床の声かけをされる」そして、「マイクロバスに乗れなかった」という経験が重なり、起床対応した職員と関係性が悪くなる。特に新しい職員が関わる時は、関係性が構築されていない中で、ご本人にとって嫌な関わりが積み重なり、ストレスも高く、対応するたびに関係性が悪化していました。



## ■ 解決方法

- ①ご本人に出勤方法や食事について意思を確認  
耳で伝えるより目でみる方が理解しやすいの

で、確認方法を文字にし「職員が対応して良い時間」や「どの時間までに朝食を食べる」などの約束を一緒に考えました。

結果「マイクロバスに乗りたい」「朝食を食べたい」「起きるときに声はかけてほしいが8時以降にしてほしい」等の意思を確認でき、その意思に合わせて支援を実施。

- ②起床や食事の動機付け（トークンシステム）を設定

### ●トークンシステムの活用

マイクロバスに乗車できたらスタンプを1つ押すようにし、最初は、スタンプが5個たまればご褒美（好きなアイドルの写真、ジュース、お菓子等）をお渡しました。

現在は、トークンシステムがうまく機能しているため、スタンプ10個たまればご褒美をお渡ししています。ご褒美も職員が決めるのではなく、本人に選択していただき、より動機が高まるように支援しています。



### ●朝食内容の工夫

朝の飲み物を前日に2~3種類（ジュースやミルクティーなど）からご本人に選択していただきました。起床できたら、前日に選択した飲み物を朝食で提供。

### ●職員の対応統一

ミーティングで起床の声かけ時間と方法を統一。起床の声かけ時間は、ご本人希望の8時以降で設定し、その方法も動機が高まるように



「〇〇食べよう」等の食事メニューを伝えるようにしました。

また、食事開始時間も、ご本人が食後の日課を行えるように職員が時間を逆算し設定。

## ■ 結果

### ○日々の楽しみが増え、ご本人の力で起床

今までは職員の一方向的なかかわりであったが、トークンシステムのご褒美やご本人に意思を確認し、朝食内容を工夫することで、日々の楽しみが増え、結果として起床されています。

ご本人からも「もう少しでごほうびだ」「ジュースおいしい」と話すことが増え、日によっては、起きづらい日もありますが、ご褒美や朝食内容を伝えることで、起床のきっかけを作ることができています。

### ○朝食が食べられる、マイクロバスに乗車ができる回数が増えてご本人も自信がついた。

ご本人もこの時間に起きると朝食に間に合う、バスに乗車できると予測がつくようになり、枠組みの中で活動を組み立てることができるようになりました。

結果、朝食を食べることが週1回から週3～4

回と増え、マイクロバスは、以前は、週に3～4回しか乗れなかったのが、今では、ほとんど毎日乗れています。

### ○職員との関係性が良好になる

今までは職員の対応にばらつきがあり、ご本人も怒ったり泣いたりすることが続いていましたが、職員間で支援を統一したことにより、混乱したり、怒ったり、泣いたりすることもほとんどなくなりました。新しく入った職員も、対応が統一されているため、スムーズにやりとりができ関係性も良好になっています。

## ■ 最後に

どのご利用者の支援にも共通すると思うのですが、今回の取り組みを通して、職員が決めるのではなく、ご本人の意思を聞くことや一緒に考えることで、ご本人にとってもプラスな経験が積み重なり、より豊かな生活につながるのではないかと感じました。

今後もトークンシステムや選択場面などを、ご本人と一緒に考えながら、新しいものを少しずつ取り入れたいと考えています。そしてたくさんの「楽しみ」がもてる「環境づくり」を実践していけたらと思います。



## ホームページ更新情報 (令和元年9月～令和元年11月)

掲載ページ	内 容
お知らせ	児童デイサービスセンター an 事業所見学会
	自閉症療育センター Link 療育事業説明会
	「発達障害研究」記事掲載
	権利擁護・虐待防止委員会広報誌更新のお知らせ
	すぎの子はったつ通信 11月号
	研修会のご案内 「安らぎの街づくりと障がいのある人の多様な働き方を考える」
	ジョブジョイントおおさかの New ホームページ完成
Café Be	ランチメニュー更新



# 杉の子 いいね!

♪レッツ♪  
クリエイティブ  
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動（絵画・詞・陶芸等）を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

## 地域生活支援部



アクリルたわし



ポーチ



皮の小物入れ

### ●職員コメント

「これらは、手芸が得意なKさんの作品で、アクリルたわし、さをり織りのポーチ、皮で作った小物入れです。

普段通われている日中活動で、ひとつひとつ丁寧に手作りされています。

さをり織りのポーチには必需品の飴ちゃんを、小物入れにはお薬をいれているそうです。

ハロウィンのかぼちゃやクリスマスツリーのアクリルたわしはかわいくて使うのがもったいない!インテリアとしても大活躍しそうです。」

# 掲示板コーナー

(令和元年9月から令和元年11月まで)

## 法人本部総務部 掲示板

9月	行	事
5・24日	経営会議	
13・27日	運営会議	
20日	医療連携推進室会議	
25日	総務管理会議	

10月	行	事
7・21・29日	経営会議	
11・25日	運営会議	
15～18日	全自者協SV研修受け入れ	
18日	医療連携推進室会議	
25日	権利擁護虐待防止委員会	
23日	新入職員研修 総務管理会議	
31日	県立広島大学内インターン説明会	

11月	行	事
7・12・27日	京都女子大学内インターン説明会	
11・27日	経営会議	
15日	医療連携推進室会議	
20日	総務管理会議	
21日	新入職員研修	
22日	運営会議	

(河辺 記)

### 京都女子大学内インターン説明会





## 萩の杜 掲示板

Happy Birthday  
おめでとうございます



HAPPY BIRTHDAY♡オシャレカフェにてケーキでお祝い♪

### ◎流しそうめん



ふれとなさはらにて、  
本格派ながしそめんをしました♪

### ◎お寿司パーティ



昼食にふれとにてお寿司パーティ♪  
とても好評でした♪

### ◎日帰り旅行～のじまスコーラ～



快晴に恵まれ、いい一日になりました♪

### ◎生活全体会議



(坂元 記)

## ジョブサイトひむろ掲示板

### 9月16日 おやじバンド演奏会



恒例のおやじバンドの演奏会に  
みんなで行きました！歌って踊って戸  
楽しい時間を過ごしました。  
知ってる曲も沢山演奏していただきました。



### 9月18日 スタンプラリースポーツ大会



優勝者には賞状が手渡されました！

月に2回行なっているボールウォーキングのイベントとし、運動能力スタンプラリー「にこすほ」スポーツ大会を開催しました！

### 10月17・18日 ひむろファーム枝豆販売

いつもありがとうございます！  
近所の方にもおすす分けです。

畑からとれたての枝豆を一房ずつ収穫。

きっちり重さを測って袋詰めです。



ラベルを入れたら完成です！

(近藤 記)



## 大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

9月	行	事
4日	大阪府発達障がい児者体制整備検討部会子どもワーキング 地域支援マネージャー事業基礎講座（八尾市）	
5日	ペアレント・メンター活動（池田市） ペアレント・メンター活動打ち合わせ（強度行動障害支援者養成研修）	
6日	大阪府人権協会 研修講師 ペアレント・メンター活動（貝塚市） 大阪府発達障がい者支援センター 3センター会議	
9日	研修：知的障害のある犯罪行為者への支援に参加（2日間）	
10日	ペアレント・メンターベーシック研修（1日目）開催	
11日	ペアレント・メンター活動打ち合わせ（豊能町）	
12日	南河内南障害者就業・生活支援センター運営会議に参加 地域支援マネージャー事業打ち合わせ（吹田市）	
24日	ペアレント・メンター ベーシック研修（2日目）開催	
26日	地域支援マネージャー事業打ち合わせ（能勢町） ペアレント・メンター活動（太子町） ペアレント・メンター活動打ち合わせ（羽曳野市）	
27日	ペアレント・メンター活動（茨木市） ペアレント・メンター活動打ち合わせ（能勢町）	
29日	JDDnet大阪 懇談会参加	
10月	行	事
1日	ペアレント・メンター活動打ち合わせ（豊能町）	
4日	地域支援マネージャー事業 基礎講座（池田市）	
8日	ペアレント・メンター活動（豊中市）	
9日	地域支援を考える会「ご本人のお話ADHDだけど事務員をやってみたらこうなった」 実施	
10日	ペアレント・メンター活動（寝屋川市）	
11日	ペアレント・メンター活動打ち合わせ（豊能町）	
17日	ペアレント・メンター活動（豊能町）	
18日	発達障害者支援センター全国連絡協議会近畿ブロックセンター長会議	
24日	関西福祉科学大学高校 発達障がいに関する研修講師	
25日	ペアレント・メンター活動（堺人権推進委員協議会）	
28日	大阪府発達障がい児者体制整備検討部会 出席 地域支援マネージャー事業打ち合わせ（八尾市・池田市）	
31日	地域支援マネージャー事業 研修会（能勢町）	
11月	行	事
7日	研修：全日本自閉症支援者協会 研究大会参加（～11/8）	
8日	大阪府発達障害団体ネットワーク 会議	
14日	ペアレント・メンター活動（豊能町）	
15日	地域支援マネージャー事業 研修会（吹田市）	
18日	ペアレント・メンター活動（豊能町）	
19日	地域支援マネージャー事業打ち合わせ（茨木市） 通級指導教室担当専門性充実事業 講師	
20日	発達障害者地域支援マネージャー応用研修参加（3日間）	
22日	ペアレント・メンター活動（羽曳野市）	
27日	アクトおおさか支援者対象公開講座	
28日	地域支援マネージャー事業 研修会（茨木市）	
29日	ペアレント・メンター活動打ち合わせ（豊中市） 結婚相談業・結婚情報サービス業人権研修 講師	

（山根 記）



## アクトおおさか Topics!!

### 支援者対象公開講座を開催しました!!

11月27日（水）に「当事者と共に考える 当事者がつながるということ～大人の発達障がい現状を踏まえて～」を開催いたしました。NPO法人DDAC（発達障害をもつ大人の会）代表広野ゆい氏に「Self-Help-Groupと大人の発達障がいの現状」をテーマに、当事者のお立場から大人の発達障がいの現状、Self-Help-Group（以下SHG。当事者同士のグループ）で得られるものについてお話しいただきました。

後半は、厚生労働省発達障害対策専門官の加藤永歳氏より、「令和元年度厚生労働省発達障害者支援施策 ピアサポート推進事業について」というテーマで国の施策についてお話をいただきました。その後、アクトおおさかも加わり「ピアサポートからこれからの支援を考える」というテーマで、まずは支援者がSHGを知ること、当事者の方々がSHGと繋がるためにはどのようなサポートが必要なのか、そして、支援者とSHGが協働で何ができるか等支援する側される側の関係ではなく、生きやすい環境を一緒に作るという視点でディスカッションを行いました。

アンケートでは、“ご本人がありのまま安心してすごせる環境作りの大切さに気付いた”、“ご本人の自己決定を妨げる支援者にならないように気をつけたい”、また、“将来彼らが地域で気の合う仲間と繋がって、彼らしい生き方ができるようになればいいと思う”等のご感想が多くありました。

今回の公開講座は、当事者と共に考える一つの協働の場になったのではないかと思います。



左から 加藤専門官（厚生労働省）  
広野氏（DDAC）、柳屋（アクトおおさか）



鈴木氏と奥野氏にご協力を頂き、  
講義やディスカッションの内容を  
その場でグラフィックに起こして  
「見える化」して頂きました。

# 児童発達支援部

## a n



クッキングを目指してお手伝い活動



スタッフに素敵な作品を作ってきてくれました



運動エリアで怪獣と格闘中



## a z



①一人で課題に取り組み中



②先生に確認しに行き、OKをもらえました♪



歯ブラシの動かし方を動画で確認



電車の手順書でモチベーションアップ!

## Link



スケジュール



自立課題



振り返り



他児としりとりゲーム



母と神経衰弱



## PASSO

## Will



2人で協力して作業



カラオケに行きました



自分でスケジュール確認



避難訓練



松屋でご飯を食べました



窓拭き掃除中

(西ヶ峯 記)



## ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

### ジョブサイトよど

#### ☆日帰りレクリエーション☆



～淡路島フルーツ農園～  
ぶどう狩りをしました♪



～ひらかたパーク～  
満面の笑みでピース(^ ^)



～須磨海浜水族園～  
カラフルなクラゲに夢中…

#### ☆日々のできごと☆



土曜開所日に  
ホットケーキを作りました!



毎日かわいい絵を描いてくださいます



カラオケに行きました♪

### ジェイ・ブランチよど

#### 「日帰りレクリエーションに行ってきました」 <森とリルのバーベキュー(BBQ)フィールド>



～BBQを楽しみました～



～ハンモックでリラックス♪～



#### <池田のカップヌードルミュージアム>



～ラーメン・トンネルに驚き～



～出来上がる様子に興味津々～



～オリジナルカップヌードル作り～

(黒木 記)



ぷれいす Be 掲示板



今回も土曜日を中心に様々な余暇・外出プログラムを実施しましたのでご紹介させていただきます



カフェコンサート (Old 和太鼓ドン様)



(ぷれいす Be 和太鼓倶楽部)



カフェランチ



ニフレル



調理実習 (お好み焼き)



調理実習 (パンケーキ)



ボウリング



京都



京都鉄道博物館



勝尾寺



万博記念公園



野間の大ケヤキ

(下 記)

## ジョブジョイントおおさか・ジョブジョイントおおさか -たかつきランチ- 掲示板

9月	行	事
6日	就労支援基礎講座	
7日	AM:土曜クラブ PM:就活のススメ #4	
14日	N-1 グランプリ	
21日	ジョイふるJJキャンプ (就職者向けサービス)	
28日	AM:先輩のハナシ+企業実習報告会 PM:家族ミーティング	
10月	行	事
2日	障がい者就職面接会@マイドームおおさか	
9日	内部研修	
24日	会社見学 (株式会社 革靴を履いた猫)	
26日	AM:土曜クラブ PM:ジョイふるJJ (就職者向けサービス)	
11月	行	事
6日	はじめるcafé #2	
9日	就活のススメ インターン報告会	
16日	AM:土曜クラブ PM:ジョイふるJJ外出 (箕面の滝)、就活のハジメ #1	
24日	自分らしい働き方セミナー&就職相談会	
23日	就活のハジメ #2	
25日	障がい者雇用セミナー	
30日	就活のハジメ #3	

(安田 記)

### 特別プログラム (先輩のハナシ+企業実習報告会)

2人のご利用者から企業実習の報告や今後の進路について、2人の先輩OBからジョブジョイントおおさかでの就職活動中の心境や現在の仕事について報告していただきました。

他者の経験や考えていることを聞くことで就職活動の見通しを持つことにも繋がりが、とても良い機会になりました。



### おもしろ専門講座 (株式会社 革靴をはいた猫 様)

前回、おもしろ専門講座に来ていただいた株式会社 革靴をはいた猫 様のお店の見学に行ってきました。障がいのある方も職人として働いておられます。おしゃれな



店内はもちろんですが、かっこよく働く社員の方々の姿に感動しました。

### ジョイふるJJ (キャンプ)

就職者向けサービスとして行っているジョイふるJJでキャンプに行ってきました。雨天予報でしたが、当日は晴天に恵まれ、OBの皆さんと楽しい時間を過ごしました。



### ライフスキル倶楽部 (あべのタスカル)

自立訓練のご利用者と阿倍野防災センターにある「あべのタスカル」に行ってきました。

初期消火や震度7などのリアルに近い体験ができ、とても学びになりました。







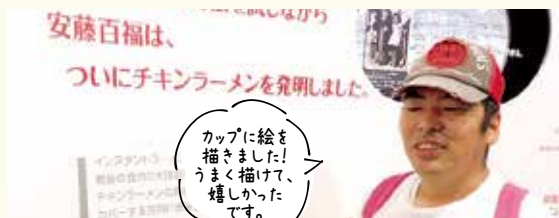
## 秋だ！レクリエーションだ！！

ララショコラでは毎年秋の時期にレクリエーションを実施しています。

今年度は、3グループに分かれて、活動しました。

どのご利用者さまも、お仕事の時とはまた違った表情を見せてくださり、支援員の私たちもご利用者の皆様と一緒に、とても楽しい時間を過ごすことができました！

### グループ① 『カップヌードルミュージアムへLet's Go♪』



### グループ② 『京都水族館へLet's Go♪』



### グループ③ 『咲くやこの花館へLet's Go♪』



## LaLa-chocolat The 4th Anniversary ♪



10月21日でLaLa-chocolatはオープン4周年を迎えることができました。この日を迎えることができましたのも、これまで

様々な形で私たちを支えてくださったお客様、関係者の皆様のおかげであり、厚く御礼申し上げます。

これからも末永く皆様に愛されるお店になれるよう、ご利用者の皆様とともにスタッフ一同、新たな決意でサービスや商品の質の向上に努めてまいります。今後ともご支援ご愛顧くださいますようお願い申し上げます。



(中野 記)



## 萩の杜家族会 掲示板

9月	行	事
2日	会長会議	
11日	イオン黄色いレシートキャンペーンに参加	
22日	カトリック高槻教会にて花販売	
26日	サークル萩(手作り品の作成と情報交換会)	

10月	行	事
7日	茶話会	高槻錦松閣 13:30~16:00
11日	イオン黄色いレシートキャンペーンに参加	
21日	安全対策委員会 ①給食試食会 12:00~12:30 ②施設見学会 12:30~14:00	
27日	カトリック高槻教会にて花販売	

10月	行	事
28日	定例会 13:00~15:00 ☆議題:今後の家族会の運営方法&役員の選出方法について	

11月	行	事
11日	会長会議 イオン黄色いレシートキャンペーンに参加	
24日	カトリック高槻教会にて花販売	
26日	家族会親睦会 12:00~14:00 場所:高槻市役所総合センター15階『桃莉』 (中華料理)	

(山本 記)

### 茶話会



高槻の錦松閣にて茶話会をしました。コーヒーとケーキで2時間おしゃべりを楽しみました

### 家族会 親睦会



家族会親睦会を高槻の桃莉でしました。本田会長も出席して下さいました。

## ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

9月	行	事
2日	家族会会長会(高槻現代劇場) 東会長出席	
19日	第2回 定例会(高槻現代劇場 206号室) 出席者 40名 欠席者 11名 来賓 松上理事長 平野理事 森田施設長 ・法人より現状報告……………松上理事長 ・地域生活支援部より報告……………平野理事 ・ジョブサイトひむろ活動報告……………森田施設長 ・高槻ふれあいバザーについて……………加藤実行委員長 ・家族会報告……………東会長 ・定例会後 第4回役員会	
24日	高槻ふれあいバザー 説明会 加藤副会長出席	

10月	行	事
12日	高槻ふれあいバザー 台風の為	中止

11月	行	事
11日	家族会会長会(高槻現代劇場) 東会長出席	
18日	杉の子会後援会・臨時取締役会(高槻現代劇場) 東会長出席	
19日	第5回役員会(本部会議室)	
	家族会 会員1名退会 井田さん	11/30日

(堀江 記)

## ジョブサイトよど家族会 & ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

9月	行	事
2日	家族会会長会 (高槻現代劇場 集会室401号室)	出席: 永井、玉木
3日	9月定例会 (淀川区民センター) 「親なきあとの準備と課題について」DVD講演会 法人出席: 田端施設長 ジョブサイトよど家族会 (出席者: 14名) ジェイ・ブランチよど家族会 (出席者: 6名)	
14日	よどおやじの会 (ほたる北新地駅前店) 法人出席: 松上理事長、田端施設長 ジョブサイトよど家族会 (出席者: 5名) ジェイ・ブランチよど家族会 (出席者: 2名)	
21日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会 (アーリーアーク306号室)	
28日	よどまつり (ジョブサイトよど、児童ディサービスセンター-an)	
10月	行	事
26日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会 (ジョブサイトよど2階)	
11月	行	事
11日	家族会会長会 (高槻生涯学習センター 第1会議室)	出席: 永井、玉木
18日	北摂杉の子会後援会 臨時役員会 (高槻現代劇場 集会室401号室) 出席: 玉木	
30日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会 (ジョブサイトよど2階)	

(永井 記)

## ぶれいすBe家族会 掲示板

9月	行	事
2日	家族会会長会議 (出席者: 厚東)	
6日	第三回参観&ランチ (担当役員: 岸、岡田) 参加者: 参観9名 ランチ7名 ARの室内が以前よりすっきり整理され、利用者の作業への集中度が上がった感じがした。CLは暑い中 (ちょっと暑すぎ!?) 作業に勤しみ、活気があった。 ランチは親同士の気楽さも盛り上がった。	
12日	役員会 (ぶれいすBe会議室) 出席者: 8名 (施設長を含む) ・第10期定例会は、ブレイスBe創立10周年祝賀会とひやりはっと年次報告会の二本立てとする。 ・第三回参観&ランチの報告 (所属するARを代わりたいたいという希望あり→個人面談時での丁寧な対応を期待したい) ・機関誌「掲示板」原稿の確認	
10月	行	事
10日	役員会 (ぶれいすBe会議室) 出席者: 11名 (施設長を含む、久しぶりの全員集合!) ・10周年記念実行委員会より: 記念品として配布予定の「タオル」完成→役員会でご披露。予想以上の出来映えに出席の皆様大満足。祝賀会の来賓として二井清治・るり子様ご夫妻、中村節史様から出席されるとのご返事をいただく。記念植樹の段取りについて、二井先生のご指導の下準備が整いつつある。「式次第」は宮崎様に書いていただく、会場の飾り付けは濱崎様にお願いする等々、準備は着々と整う。 ・当日台風19号の襲来が予想される→定例会の中止を決定、その旨を記した文書を配布 ・祝賀会については『Beどうし』で<誌上挙行>する ・「ひやりはっと報告会」については別途開催を考える	
12日	定例会→荒天のため中止	

10月	行 事
29日	第四回参観&ランチ(担当役員:北川、大曾根)参加者6名 それぞれのARの室内が整理整頓・模様替えされて、広く明るくなった感じがした。CL および軽作業チームの仕事ぶりには格段の進歩が認められ、スタッフおよび利用者の日ごろの努力の賜物と感心した。
11月	行 事
11日	家族会会長会議(出席者:厚東)
14日	役員会(ぶれいすBe会議室)出席者:10名(施設長を含む) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第四回参観&amp;ランチの報告</li> <li>・家族会目安箱は廃止し、そのかわりに電話相談窓口を開設した旨の文書を作り配布(窓口担当者は岡田さんと横山さん。役員の任期を越えて当面継続していただけるとのこと)</li> <li>・ひやりはっと報告会のお知らせ文書の作成と配布</li> </ul>
18日	『祝10周年Beどうし』記念特別号刊行(編集発行:ぶれいすBe10周年記念実行委員会) 内容目次:下施設長のはじめの言葉。厚東家族会会長「ぶれいすBe10周年にあたって/感謝の言葉/提案:ぶれいすBe建物調査専門委員会の立ち上げについて」。中村前理事長「ぶれいすBe創立10周年記念 開設の思い出」。ぶれいすBe開設初年度からの永年勤続の皆様。奥平副施設長「10周年記念実行委員会のご紹介」 当日記念タオルを添えてぶれいすBe利用者全員に配布した。 北摂杉の子会後援会臨時役員会(出席者:会計・和田)
28日	ひやりはっと報告会(担当役員:田中)、参加者:会員16名 下施設長および奥平ぶれいすBeリスクマネジメント委員会委員長にもご参加いただく。岡田さんの司会で、奥平委員長の30分程の報告を受け、40分程質疑応答。家族会会員から提起された建設的で前向きな意見に対して、施設側も真摯な対応を示され、家族会と施設との間で、〈ひやりはっと文化〉を協働して定着させたいとする強い意向が感じられたのが最大の成果であった。

(厚東 記)

## 自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス 掲示板

9月	行 事
2日	オアシス役員会 アーリーアーク405号室
9日	オアシス・サロン 喫茶店にて開催 参加者:5名
10日	ペアレント・メンター養成講座1日目 場所:ドーンセンター オアシス会員参加
12日	社団法人大阪自閉スペクトラム症協会主催・オアシス共催 勉強会「障害児・者のための交通安全について」 講師:堀 清和 氏(兵庫医科大学) 場所:ドーンセンター中会議室 9名
23日	NHKハートフォーラムin梅田 「ゲーム障害の子ども・若者への支援」 講演①「大人の発達障害からみる幼少期の育て方、関わり方」 講師:竹田 契一 氏 講演②「子ども・若者のゲーム障害の診断と治療」 講師:片山 素久 氏 場所:オーバルホール 役員参加
24日	ペアレント・メンター養成講座2日目 場所:ドーンセンター オアシス会員参加
29日	JDDnet大阪懇親会 場所:ドーンセンター 会長参加
30日	兵庫教育大学大学院学生による障がいのあるお子さんをお持ちのお母さま向けアンケート調査協力。長崎大学大学院学生による自閉スペクトラム症児者の感覚について回答協力
10月	行 事
5日	おやじの会(大阪自閉スペクトラム症協会と合同開催) eショップ&カフェ谷町6名参加 支援者の方も参加され有意義な時間となりました。
7日	オアシス役員会 アーリーアーク405号室



10月	行 事
8日	ペアレント・メンター活動 場所：豊中市すこやかプラザ 「発達が気になる子ども子育て 親による親のための講演会」に子育ての経験や学齢期における進路選択肢について話しました。オアシス会員 社団法人大阪自閉スペクトラム症協会主催・オアシス協力 公開講座「防災について 自閉スペクトラム症児・家族の自助公助」 講師：NPO法人ゆめ風基金 八幡 隆司 氏 場所：ドーンセンター中会議室 会長参加
13日	オアシス25周年記念事業 内山登紀夫先生を迎えての講演会は、天候不良のため延期→令和2年1月12日午後クレオ大阪中央セミナーホールに予定を変更
29日	一般公開座談会 谷岡とし子先生を囲んで テーマ「お悩みごとについて」 場所：ドーンセンター調理室 参加者：7名
30日	ホットメールなにわ会合 場所：港区民センター 副会長参加



谷岡先生座談会

11月	行 事
4日	NHKハートフォーラム「子どもの発達障がい～課題解決へのヒントを探る」 本田秀夫先生 NHK大阪ホール 会長参加
7日	大阪府発達障がい団体ネットワーク会会合 場所：十三博愛社 会長・事務局局長参加
25日	オアシス役員会 アーリーアーク405号

(福田 記)



堀先生公開講座

## 北摂杉の子会 後援会 掲示板

本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また法人家族会の皆様のご支援を頂き、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### <報告事項>

#### I 会員数の動態と資金について

	個人会員数	納入率	団体会員数	納入率	寄 付
4月	399	(1%)	25	(0%)	2
5月	402	(33%)	25	(24%)	4
6月	407	(35%)	25	(28%)	4
7月	410	(38%)	25	(28%)	2
8月	411	(40%)	25	(32%)	1
9月	413	(41%)	25	(32%)	1
10月	413	(44%)	25	(32%)	1
11月	417	(52%)	27	(48%)	8

#### 11月末現在の増減・累計

個人：18名 団体：2 寄付：23名  
 資金 会費：854,000円 寄付：676,010円  
 合計：1,530,010円

II 今年度 11月末までに会費、寄付金合わせまして1,530,010円の資金を頂戴いたしました。ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

III 臨時役員会を開催(2019年11月18日)し下記の案件について確認

- 1 今年度の会員動態と資金の推移について
- 2 その他
  - ・後援会会則の改定・整備検討
  - ・機関誌に関連する実状の把握と活用方法
  - ・次回臨時役員会の開催予定  
日時：2020年2月4日(火)13：00～14：30  
場所：高槻現代劇場

(沖本 記)

## 寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。お振込みは右記口座まで。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座 北摂杉の子会  
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会  
口座番号：508555

## ～ 皆様の温かいご支援に感謝いたします ～

- 法人へのご寄附に感謝いたします。(令和元年9月1日～11月30日)  
植松芳哲 小川敏夫 田口和人 棚山薫晴 成田憲彦 百瀬 尚 井田 進
- 後援会入会と会費納入に感謝いたします。(令和元年9月1日～11月30日)  
北村久美子 田中宏明 山下隆司 森本信之 古山和史 坂井恵美子 山尾扶美 安原邦高 有田和弘 岩井光男 田口和人 田口容子 田口敦夫 田寺雅幸 田寺文子 森谷弘雅 森谷薫美 森谷奈津美 棚山薫晴 棚山 妙 中村節史 中村悦子 中村哲史 中村豪史 長谷川ひろみ 藤田晴美 米田たか 伊藤 茂 川田 紀久夫 新川 彰 平尾欣子 佐々木サツキ 山里将夫 増見一枝 関 正弘 関 喜子 水谷英明 増田 博 山口 博 山口秀子 谷村剛史 谷村佳拓 谷村美喜 新谷 敦 山口重雄 永田健二 永田啓子 寺村有理子 寺村善則 増田桂子 橋爪節子 松上文字 高宮郁子 澤田文字 志田智子 富田一彦 富田由紀 富田悠誠 松岡建設株式会社 代表取締役 松岡茂雄 中央フードサービス株式会社 神峯山寺 キンキ寝具株式会社 株式会社いずみ商事 有限会社北摂初田 カトリック高槻教会 医療法人光愛会 光愛病院 匿名希望3人
- 後援会へのご寄付に感謝いたします。(令和元年9月1日～11月30日)  
益岡千加子 田口和人 中村千明 中村央樹 西坂徹雄 水谷英明 近藤順子 新川淳 やまびこ園 大峰診療所 大峰教二 匿名希望
- 家族会へのご寄付に感謝いたします。(令和元年9月1日～11月30日)  
本吉貞子
- 家族会への物品のご提供に感謝いたします。(令和元年9月1日～11月30日)  
南野佐智子 白倉千代子 赤尾浩子 澤田幸子 坂井恵美子 不二園芸
- 家族会へのボランティアに感謝いたします。(令和元年9月1日～11月30日)  
佐々木英世 坂井恵美子

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会  
理事長 松上 利男  
発行所 北摂杉の子会  
住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8  
発行日 2020年1月10日

定価100円

## 施設住所一覧

- 社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部事務所  
人材育成研修室**  
(法人独自の公益事業〈研修・講師派遣・コンサルテーション〉)  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F  
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
- 障がい者支援施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
- 萩の杜 日中活動支援センターふれとなさはら**  
(生活介護)  
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番25号
- 萩の杜ショートステイセンター ぶれす**  
(短期入所・日中一時支援)  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
- グループホーム とんだ** (共同生活援助)  
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- レジデンスなさはら** (共同生活援助)  
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- レジデンスなさはら2丁目** (共同生活援助)  
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目1番8号
- レジデンスなさはらもとまち** (共同生活援助)  
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番26号
- ジョブサイトひむろ** (生活介護)  
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27  
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
- 高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**  
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号  
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900  
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
- 生活支援センター あんだんて**  
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号  
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
- 大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**  
(発達障害者支援センター事業)  
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13  
谷四ばんらいビル10F  
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
- サポートセンターPASSO**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号  
TEL (06)4862-5454 FAX (06)4862-5466
- 児童デイサービスセンター an**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号  
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6195-2221
- こども発達支援センター will**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F  
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
- こども相談支援センター wish**  
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F  
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
- 自閉症療育センター Link**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F  
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
- こども発達支援センター az**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒558-0003 大阪市住吉区長居2丁目4-1 サンテ長居1F  
TEL (06)6654-8777 FAX (06)6654-8780
- ジョブサイトよど** (生活介護)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号  
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
- ジェイ・ランチよど** (就労継続支援B型)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号  
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
- ジョブジョイントおおさか**  
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号  
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
- ジョブジョイントおおさか たかつきランチ**  
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)  
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F  
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
- すぎのご訪問看護ステーション** (訪問看護)  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目7-16 リーベン城北401  
TEL (072)668-2670 FAX (072)668-2671
- 発達支援あゆみ** (豊中市児童発達支援事業所あゆみ)  
(個別療育・障害児一時預り事業)  
〒560-0054 豊中市桜の町3丁目12番10号  
TEL (06)6398-7755 FAX (06)6841-9467

### 【法人自主製品店舗】

- よどのコロッケ**  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目10番10号  
TEL (06)6306-4096  
営業時間：10:30～17:00(土・日・祝定休)
- 「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKI」**  
就労継続支援B型  
〒569-0071 高槻市城北町2丁目13番2号  
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081  
営業時間：10:00～19:00(日・祝休み)

※■は行政よりの委託事業